

公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 海岸班

事業名	金武湾港海岸(ギンバル地区)海岸環境整備事業		事業区分	海岸事業	事業主体	沖縄県	
事業箇所	金武町金武地先						
事業の諸元	事業延長: 850m 工法: 護岸、養浜、突堤						
事業の概要	<p>金武湾港海岸(ギンバル地区)は沖縄本島東海岸のギンバル訓練場跡地に位置しており、金武湾に面している。平成23年7月のギンバル訓練場全面返還に伴い、金武町は跡地利用計画を定め、リハビリ・医療関係施設、スポーツ施設等の整備を進めており、また、民間のホテル誘致も進めている。</p> <p>当海岸は同計画において海岸利用を促進する人工ビーチとして位置づけられており、今後の海浜利用促進が期待できる。</p>						
事業の必要性・効果等	<p>[必要性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県は21世紀ビジョンに掲げる駐留軍用地跡地の計画的な整備、金武町のギンバル訓練場跡地利用計画の推進を図る必要がある。 <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民及び観光客が海水浴場として親しむことができる海岸が創出される。 かつてあったとされる砂浜が復元される。 						
事業期間	事業採択	平成 28 年度		完了(予定)	平成 31 年度		
全体事業費	24.6	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	1/3	
	B/C	総便益: B	34.38	(億円)	総費用: C	23.26	(億円)
	=	① 海岸利用便益34.38億円		① 事業費21.1億円		基準年 平成 28年度	
	1.47	②		② 維持管理費2.16億円			
		③		③			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀ビジョン基本計画に掲げる「駐留軍用地跡地の計画的な整備」に寄与する。 21世紀ビジョン実施計画の施策展開「自然環境の再生」に位置付けられている。 琉球諸島沿岸海岸保全基本計画において整備計画が位置付けられている。 						
環境への配慮	<p>陸上部に国指定天然記念物のオカヤドカリ類が生息しているため、砂浜及び石積護岸を整備し、陸上部への連続性を確保する。平成27年度に予備設計と海域の環境調査を平行して実施し、環境に配慮した施設配置、環境保全措置等の検討を実施する。</p>						
関係する地方公共団体等の意見	金武町より海岸整備の要望がある。						
概要図(位置図)	 						